

(略) 繰り越し渡船

植松さん、門間さん、学校前の可児さん、門田さんと多くの級友は、常呂川を渡って通学した。川を渡る方法は、繰り越し渡船といって自力、独力である川をこぎ渡る方法である。大水の時でも2メートル×4メートルの馬船で、正雄、俊良、三郎、正美君らと協力して、あの大川の大水をこぎ渡って川沿校の補習科へ通ったもの。(略)

注：岩本氏は大正15年3月、太幌尋常小学校卒業。(福山小学校の前身)

補習科へ通学と書いているが、幌内から川沿校の高等科へ通学と思われる。

注：明治43年12月8日、川沿特別教授場を常呂村第二尋常小学校に改称

(川沿小学校の前身)

大正8年5月15日、常呂第二実業補習学校を併設開校(高等科の前身)

大正15年4月1日、補習学校を廃止して高等科を併置

常呂村川沿尋常高等小学校に改称

注：『イワケシ』郷土史』には、「長年の間、渡船利用によって幾人かの尊い人命を失った常呂川17号に昭和13年になってやっと木橋が架設され、太幌橋と名付けられた」と記載。繰り越し渡船の場所は注の場所と思われる。